

まずはじめに、51 回生の卒業式の準備、片付けにあたってくれた皆さん、ありがとうございました。厳粛で、とてもよい卒業式を行うことができました。また、54 回生を迎える入試にあたっての大掃除等の入試会場の準備についても感謝します。無事に、入試、合格発表等を終えることができました。

合格発表は、3月19日にありました。大きな歓声が沸き起こり、抱き合って喜んでいる人も大勢いました。こんなに喜んでもらって幸せだなと感じました。皆さんも同じことを経験したはずです。その時の感激と心に掲げた志を忘れてはいませんか。もし忘れていたようでしたら、今一度思い出して下さい。そして、4月には皆さんに憧れ、尼崎小田高校に憧れながらも、不安と期待を抱えて入学してくる新入生を温かく迎えてあげて下さい。

さて、私は21年前まで、県立高校で授業をし、陸上競技部の顧問もしていました。担任が一番楽しかったという思い出があります。

そして、その陸上競技部が掲げていたテーマが「浪漫」です。意味は、「限りないものに挑戦してやろうという心意気」です。私がミーティングで「浪漫」について、繰り返し話すので部員達が部のテーマにし、Tシャツも作っていました。陸上競技に限らず、その人の能力や立場によって、それぞれに目指す場所は違ってきます。しかし、今の自分より一つでも二つでも上のステージで活躍してやろうという心意気は、特に皆さんの年代、高校生を大きく成長させます。その度合いは、我々大人が考える常識的なものではなく、おそらく成長する皆さんの想像をも超えるものです。どうか皆さん、皆さんにとってそれは、進路実現なのか、人間的な成長なのか、部活動で成果を上げることなのかはわかりませんが、限りないものに挑戦する新年度として下さい。応援しています。

明日から始まる春休みでは、4月に向けての準備、限りないものに挑戦する準備をしっかりと行い、R7年度が皆さんにとって充実した年度になることを期待して式辞とします。